

第 3 次スポーツマスタープラン 令和 3 年度取組み評価シート

[参 考]

第 3 次スポーツマスタープラン数値目標

成人のスポーツ実施率（週 1 回以上）

2016 年	2018 年	2020 年	2022 年	2028 年
44.6%	38.8%	50.3%	48.1%	65.0%

市民意識調査

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策（1） 活動プログラムの充実

スポーツには「する、みる、ささえる」など多様な関わり方があることから、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に関わることができるよう、様々なプログラム活動への参加の機会を提供する。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○スポーツへの参加機会の拡大	評価指数 /年度	R1	R2	R3
○スポーツを始めるきっかけづくり	各種大会、イベント参加者数	24,162	9,834	13,070
○地域におけるスポーツ活動推進				
○競技力の向上	全国大会等への出場者数	420	92	233
○子どもの体力向上				
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全52事業（新規1事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者団体に補助金を交付し、団体が実施するスポーツ・レクリエーション事業（ボッチャ大会など）を支援している。 ・子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象に様々な事業を実施している（健康推進課8事業）。特に高齢者世代に対しては多くの事業を実施することができている（長寿課9事業）。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業や縮小して開催する事業などがある。 				
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの事業については継続して実施しているが、スポーツに取り組む時間を取りにくい世代（女性及び働く世代など）に対する解決策などをとることができていない。 ・市社会福祉協議会と連携し、市社会福祉協議会主催のボッチャ大会に、市スポーツ推進委員協議会のスポーツ推進委員が係として協力し、障害者スポーツの普及に努めた。 				
<p>(5) 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施頻度の低い女性及び働く世代を対象として、新規事業の実施や現事業の拡大や見直しを行い、他課等と連携した事業の実施（新規・継続・拡大）を検討する。 ・人口比率が高まる傾向の高齢者層を対象とした事業を実施（継続及び拡大）する。 ・次世代を担う子どもたちが、幼少期からスポーツに触れる機会を増やし、スポーツが好きになるような事業の実施を検討する。 ・ニュースポーツ普及事業を始め、障害者スポーツの普及に努める。 				

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策(2) クラブ・団体の育成

市民が所属するクラブ・団体の安定的な運営の確保とともに、組織力の強化を支援し、クラブ・団体の育成を通じて、スポーツ活動の充実を図る。

(1) 主たる内容 ○総合型地域スポーツクラブの育成 ○統括団体の組織強化	(2) 参考数値			
	評価指数 / 年度	R1	R2	R3
	総合型地域スポーツクラブ加入者数	2,148	1,391	1,566
	スポーツ協会加入者数(スポーツ少年団加入者数)	11,959 (655)	11,831 (569)	11,486 (606)
レクリエーション協会加入者数(うちスポーツ関係団体分)	1,686 (860)	1,714 (866)	1,673 (829)	
(3) 関連事業の取組み状況 全7事業(全て継続) <ul style="list-style-type: none"> 各団体へ補助金の交付等による活動支援や広報活動の実施、各団体主催(主管)の大会等の開催などを行っている。 総合型地域スポーツクラブ6クラブへ新型コロナウイルス感染症対策支援金として、1クラブあたり20万円を交付した。 スポーツ少年団へ感染症対策や熱中症対策備品を購入、配布し、活動の継続に努めた。 				
(4) 課題への取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの認知度向上及び会員増に向けた地区回覧や広報誌への掲載に取り組んだ。 				
(5) 今後の方向性 <p>[総合型地域スポーツクラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知度の向上に向け、情報の発信だけでなく、市民ニーズに合った教室や講座などの開設を各クラブに検討頂くなど、自主的・自立的な取組みをするような体制を整える。また、会員数増加に向けた取組みを行う必要がある。 <p>【参考：総合型地域スポーツクラブへの参加意向】</p> <p>「自分の希望する活動があれば参加してみたい(27.4%)」</p> <p>「どんなことができるのか分からないのでとりあえず知りたい(38.5%)」</p> <p>[スポーツ協会・レクリエーション協会など]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体の加入者数について、この数年減少しているが、増加を目指す。 各団体は地域のスポーツ振興の中心であり、本市のスポーツ推進の中核を担う組織であるため、継続した支援を行う。 				

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策(3) 施設の整備・充実・開放

さまざまなスポーツ施設において、その利用状況なども加味し、どのようなサービスを、どの施設で提供するかを考慮して、市民が活動しやすい施設の整備・充実を検討する。また、市民が安心して、気軽にスポーツ施設を利用することができるよう、既存施設については、より適正な管理・運営に努める。

(1) 主たる内容 ○施設の計画的な整備・修繕 ○既存施設の適正な管理運営 ○活動拠点の充実	(2) 参考数値			
	評価指数 / 年度	H19	H25	H29
	スポーツ施設の利用に満足している人(%)	45.3	66.6	74.2
(3) 関連事業の取組み状況 全15事業(全て継続) 市民の運動活動拠点として、施設を管理する指定管理者と連携しながら、総合運動公園や体育施設の適正な管理・運営を行っている。なお、各施設の使用状況については、資料2-③体育施設使用状況のとおり。				
(4) 課題への取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校体育施設スポーツ開放事業について、利用の受付を公共施設予約案内システムで行う運用に変更したことで、利便性を高めることができた。 ・利用者が安心・安全にスポーツに取り組めるように、金山広場グラウンドの改修やバスケットゴール及びテニスコートのネットの補修を行った。 ・市民が気軽に取り組むための環境づくりとして、日高公園のウォーキングコースの設計を行った。(令和4年度完成予定) 				
(5) 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校体育施設スポーツ開放事業では、引き続き利用者の利便性や安全性の向上により、安定かつ質の高いサービスが提供できるような施設管理や運営体制を整える。 ・市内体育施設や設備等の老朽化対策として、計画的な改修を検討する。 ・(仮称)逢妻川河川敷運動広場整備をはじめ、施設の充実を図る。 ・公園等において、市民が身近な場所で気軽に運動が行えるようスポーツ環境の充実を図る。 				

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策(4) ささえる人材の育成

市民がスポーツ活動を継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者やその運営を支援するスポーツボランティアなどのささえる人材が必要であることから、市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるよう、指導者やスポーツボランティアなどのささえる人材の育成に努める。

(1) 主たる内容 ○優れた指導者の育成と確保 ○地域のスポーツリーダーの充実 ○指導者のネットワークづくり ○スポーツボランティアの育成と確保	(2) 参考数値(「-」は、調査年非該当)				
	評価指数 / 年度	H29	R1	R2	R3
	スポーツリーダー養成講座修了受講者数	37	48	中止	23
	「ささえるスポーツ」の認知度(一般)(%)	16.1	-	-	-
	スポーツ推進委員認知度(知らない人)(%)	60.2	-	-	-
(3) 関連事業の取組み状況 全4事業(全て継続) スポーツ推進委員が総合型地域スポーツクラブの運営者として携わると共に、地域との調整役を担うコーディネーターとして育つような取組みを行っている。					
(4) 課題への取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアを一般募集するイベントがほとんどないため、「ささえるスポーツ」を実践する機会の提供の拡大が図れていない。 ・スポーツ推進委員を市社会福祉協議会主催のボッチャ大会にスタッフとして派遣し、障害者スポーツへの理解を深めると共に、「ささえるスポーツ」の活動を支援した。 ・スポーツリーダー養成講座の修了者から2名を生涯学習課の指導者名簿へ登録し、指導者のネットワークづくりに努めた。 					
(5) 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の活動支援を行う。 ・活動写真パネルの設置などによりスポーツ推進委員の認知度向上と活動・イベント周知を行う。 ・スポーツイベントを行う際に、指定の団体(学校や近隣企業など)のみにボランティアを募集し、イベントを開催するだけでなく、幅広く募集する方法を検討する。 ・スポーツリーダー養成講座の修了受講者の活用方法について検討する。 					

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策（5） 情報の提供

市民がいつでも、どこでも手軽にスポーツに関する情報を得られる環境づくりに努め、市民のスポーツ活動のきっかけづくりや活動の継続を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値（「-」は、調査年非該当）				
○スポーツ情報の積極的な発信	評価指数 / 年度	H19	H25	H29	R3
	スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合（%）	13.5	13.7	17.2	-
	スポーツ行事の情報源（市民だより）（%）	68.6	64.6	35.4	-
	スポーツ課 ^{Instagram} のフォロワー数（人）※3月31日時点	/	/	/	993
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全12事業（うち拡大1事業、新規1事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種大会、イベントなどのスポーツに関する情報やホームタウンパートナーチームの試合情報などの市民だよりへの掲載に加え、東京2020オリンピック・パラリンピック関連の特集や市制施行70周年プラス1事業の情報を掲載することで、市民への周知を図った。 市社会福祉協議会が開催する障害者スポーツの大会について、市民だよりへの掲載やポスターの掲示等、市民への情報提供を行うことで、障害者スポーツに対する市民の理解や関心を高めた。 					
<p>(4) 課題への取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ課 Instagram による情報発信など、様々な媒体で情報の発信を行った。 バスケットボール女子カナダ代表の事前キャンプの様子を録画し、速やかに市公式 YouTube 動画に掲載することで、市民に身近に感じていただけるよう工夫した。 					
<p>(5) 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS 等の普及によりスポーツ行事の情報を市民だよりから得る割合が低下していることから、様々な方法でスポーツ情報を発信していく。 情報発信にあたっては、ターゲットを整理し、効果的な方法を検討する。（例：小中学生、子育て世代、働く世代など）。 					

■第3次スポーツマスタープラン 令和3年度取組み評価シート

施策(6) スポーツを通じたまちづくり

本市の恵まれたスポーツ環境を活用し、スポーツを通じて派生するさまざまな交流活動、市の魅力向上・発信など、魅力と活力にあふれるまちづくりに取り組む。

(1) 主たる内容 ○スポーツ交流の促進 ○ホームタウンパートナーチームとの連携による市の魅力向上・発信 ○スポーツを通じたまちづくり	(2) 参考数値(「-」は、調査年非該当)				
	評価指数 / 年度	H29	R1	R2	R3
	ホームタウンパートナーチームの認知度(%)	37.8	-	-	-
	トップリーグ等の試合数(回)	59	53	39	60
	刈谷キラキラ教室(参集型)開催数(回)	3	5	0	4
刈谷キラキラ教室(派遣型)開催数(回)			1	1	
(3) 関連事業の取組み状況 全9事業(うち拡大1事業) バスケットボール女子カナダ代表による東京2020オリンピック事前キャンプを受け入れ、期間中にオンラインにより、市内小中学校のバスケットボール部の児童・生徒と交流する等行った。コロナ禍でも優れたスポーツ文化に多く触れてもらうための機会の提供に努めた。					
(4) 課題への取組み状況 ・各課に協働可能な活動を調査し、引き続き、本市の大きな地域性であるホームタウンパートナーと各課が協働し、地域貢献活動を実施した。 ・ホームタウンパートナーによる参集型刈谷キラキラ教室(ジェイテクトSTINGS、トヨタ車体クインシーズ)と派遣型刈谷キラキラ教室(ジェイテクトバドミントン部)を実施した。 ・市制施行70周年プラス1事業として、ホームタウンパートナーによる親子観戦招待を市民だよりにより広報し、15試合に合計402人の親子を観戦招待した。身近にトップスポーツチームの試合をご覧いただくことで、ホームタウンパートナーの認知度向上に努めた。 ・ホームタウンパートナーのトヨタ紡織サンシャインラビッツがスポーツ教室の講師として参画した。					
(5) 今後の方向性 ・ホームタウンパートナーがもっと地域に根付いたものとなるように、スポーツ分野以外の取組み(他課等との連携の拡充)を引き続き、実施できるよう努める。 ・教育現場と連携した取組みの強化として、参集型刈谷キラキラ教室を始め、派遣型刈谷キラキラ教室の拡充を図る。 ・ホームタウンパートナーの認知度向上に向けた取組みを検討する。 (参考:各チームによるスポーツ教室動画の作成など) ・ホームタウンパートナーOB・OGをスポーツ教室の講師として招くなど、スポーツチームが多い地域性を活かし、引退したアスリート等が指導者として学校や地域で活動できる環境を整備する方法を研究する。					